



「よみがえる土偶」

長い時をこえて地面から姿を現す、
遮光器土偶のことを伝えたい

【カバー原画】中泊町立薄市小学校6年 北島 隼^{そら}さん

亀ヶ岡石器時代遺跡(青森県つがる市)から出土した遮光器土偶(写真)は、目の表現が、北方民族が雪原に反射する光から目を守るために使用した遮光器に似ていることから、その名がつけられました。折りやまつりの道具として使われたと考えられています。

亀ヶ岡石器時代遺跡や三内丸山遺跡(青森市)を含む北海道・北東北の縄文遺跡群は2021年の世界遺産登録を目指しています。



北海道・北東北の縄文遺跡群
—JOMON JAPAN—

<https://jomon-japan.jp>



キッズサイト
JOMON ぐるぐる

<https://jomon-japan.jp/kids>



We are working for inscription of
the Jomon Prehistoric Sites in
Northern Japan on the UNESCO
World Heritage List in 2021!

北海道・北東北の縄文遺跡群 「JOMON MAP」

縄文遺跡群へのアクセスやモデルコースを掲載。
各遺跡で配布しているほか、
公式ホームページに掲載しています。



表紙

地図

※各遺跡や施設では新型コロナウイルス感染症対策を行っています。おでかけの際は、ホームページなどでご確認ください。感染症拡大防止にご協力くださるようお願いいたします。

縄文あおりカレンダー2021 好評配布中!

北島さんの本作品など、青森の子どもたちが描いた
“世界に誇るJOMON 遺跡群”を
カレンダーで紹介。豊かな感性で彩られた
作品をご覧ください。



【お問合せ先】
青森県 世界文化遺産登録推進室 TEL:017-734-9183